

# ベーシック・ルール

## 【ゲーム開始前】

ベーシック・ルールでは、分子量や勝敗条件を変える効果が示された Labo カードのみを使用します。下記の使用しないカードは、箱に入れておきましょう。

## ベーシック・ルールで使用しない Labo カードリスト

- 実験台の整頓 2枚
- 分液ロート 2枚
- 実験ノート 1枚
- 蒸留 1枚
- 原料の回収と利用 1枚
- 薬品の購入 1枚

## 【ゲームの準備】

- 分子カードと Labo カードそれぞれの山札をシャッフルします。
- 各プレイヤーは、分子カードの山札から7枚引き、Labo カードの山札から3枚引き、手札にします。
- 分子カードに限り、1度だけ山札から最大3枚まで交換できます。(任意)



## 【ゲームの流れ】

### 1. カードの選択

各プレイヤーは、バトルで使用する分子カードと Labo カードを手札から選びます。

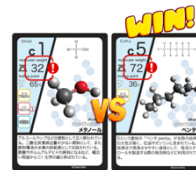
(Labo カードは使用しなくてもよい)

### 2. カードを同時公開してバトル

お互いにカードを選び終えたら、同時に表向きに出します。

### 3. バトルの勝敗の判定

- 分子量 (molecular weight) が大きい分子の勝ち



分子量  $32 < 72$

【例外】 Labo カード：エバポレーターの使用時

- 沸点 (boiling point) が高い分子の勝ち

### 4. カードの処理

- 負けた分子カード：表向きで場に置く
- 勝ち、引き分けのカード：裏向きで場に置く
- 使用した Labo カード：裏向きで場に置く

### 5. 次のターンへ

1. に戻り、バトルを繰り返します

## 【ゲームの終了】

以下のいずれかのゲーム終了となります。

- どちらかの分子カードがなくなったとき
- 負けた分子カードの炭素数の合計が 10 以上になったプレイヤーが出たとき

## 【ゲームの勝敗について】

バトルで負けた分子カードの炭素数の合計が少ないプレイヤーが勝ちです。



化学反応で分子量を増やす (Labo カードの使用例)

※ Labo カードの効果はそのターン中のみとする

### 例1 Labo カード：硝酸(ニトロ化)

アルコールもしくはベンゼンのカードと Labo カード【硝酸】を使用する(ニトロ化させる)ことで、分子量を+45とする。

反応に必要な分子



ベンゼン (分子量: 78)

→ ニトロベンゼン (分子量:  $78 + 45 = 123$ )

### 例2 Labo カード：硫酸(分子内脱水)

Labo カード：臭素付加 の2枚コンボ

「臭素付加」は、アルケンの分子量を+160にできる強力なカードですが、手札にアルケンの分子カードがない場合は使用できません。

そこで手札のアルコールの分子カードを Labo カード：硫酸(分子内脱水)の効果で、アルケンに変えて、Labo カード：臭素付加を重ねて出すことができます。



アルコール → アルケン

アルケンの臭素付加

$$60 - 18 + 160 = 202$$



— 化学で遊び、楽しく学ぶ —

Chemistry Strategy

©Chemi-Shiru